令和５年７月１２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－５

令和４年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【陶町明日に向って　街づくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	１，１５０，１２１円
交付金決定額 （うち加算額）	１，０５５，０００円 （０円）
交付金決算額	９４５，４０５円
交付金返還額	１０９，５９５円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ１３
・事後評価調書　Ｐ１４～Ｐ１７
・参考写真
（令和４年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ１８～Ｐ１９

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和５年４月１０日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市陶町４０５番地の１
名称：陶町明日に向って街づくり推進協議会
代表者氏名：会長　長谷川　孝夫

夢づくり地域交付金実績報告書

令和４年４月２７日付瑞浪市指令第５４号の８で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

交流人口拡大事業
文化振興事業
環境美化事業
防災減災セーフティーネット事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

交流人口拡大事業

２　活動報告（活動内容等）

①　ホームページの管理
②　Mapコース調査
③　陶与左衛門窯焼成等
④　どんど焼きお手伝い
⑤　ふれあい広場お手伝い
⑥　アプリケーションSUEの発行
⑦　すえっこ活動
　　イベント参加及び町内行事参加

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

陶与左衛門窯焼成：４３０人
どんど焼き手伝
ふれあい広場

４　事業に要した経費（総事業費）

534,717　円

５　夢づくり地域交付金充当額

455,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
通年	ホームページの管理 すえっこくん活動 商標登録費用（１０年）	通信費等 手数料等 消耗品費 旅費 委託料	31,183 2,600 20,240 15,340 126,580
4月			
５月			
６月			
７月			
８月	陶与左衛門窯焼成ポスター	印刷費	45,650
９月	陶与左衛門焼成松の木薪代 陶与左衛門焼成等参加		120,939
１０月	Mapコース調査および整備	消耗品費	9,935
１１月			
１２月			
１月	どんど焼き手伝い		
２月	陶一周駅伝手伝い		
３月	アプリケーションSUE発行 中馬街道看板看板取り付け代他	印刷費 委託料	92,400 69,850
合計			534,717

交流人口拡大事業　令和４年度予算執行状況

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	455,000	455,000	
自主財源	217,000	79,717	
その他（　　）			
合　　計	672,000	534,717	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	予算額	執行額	備考
経費区分	活動の内容				
すえっこ活動	イベント参加等	旅費	50,000	15,340	
		手数料等		2,600	
		消耗品費		20,240	
	商標登録費用	委託料	80,000	126,580	
小計			130,000	164,760	
イベント開催時協力費	腸内検査費用	手数料等	8,000	0	中止
	どんど焼き	消耗品費			
	どんぐり夏祭り	消耗品費			中止
	ふれあい広場	消耗品費			
	陶一周駅伝（トン汁・ぜんざい提供）	賄材料費	130,000	0	
		消耗品費			
		光熱水費			
小計			138,000	0	
広報啓発費	ホームページ	通信費等	35,000	31,183	
	アプリケーションSUEの発行	印刷費	90,000	92,400	
小計			125,000	123,583	
陶与左衛門窯祭り	ポスター、チラシ	印刷費	60,000	45,650	焼成用ポスター
	新聞折込料	手数料等	4,000		
	焼成用松の木薪代	光熱水費	120,000	120,939	
小計			184,000	166,589	
Map作成	Map作成印刷	印刷費	65,000	0	
Mapコース調査	看板印刷・燃料	光熱水費	5,000		
		印刷費	25,000		
		消耗品費		9,935	
		委託料		69,850	
小計			30,000	79,785	
合　　計			672,000	534,717	

様式第9号(第11条第1項関係)

実績書

1 事業名

文化振興事業

2 活動報告(活動内容等)

陶小学校児童との中馬街道探索…陶小学校6年生児童陶町内の中馬街道を探索。街道沿いの史跡を巡りながら、中馬街道が陶町の産業や歴史にどのように関わっていたかを解説。
あ・うんコンサート開催…日用品演奏ユニットを出演者とし開催。観客と演者とが一緒に演奏、音当てクイズなどもあり、観客参加型のコンサートとなった。特にコンサート後には、演者の手作り楽器を触ることができるワークショップもあり、親子で楽しむ姿が印象的だった。
陶町Map(仮称)作りの為の準備作業としてうさぎ岩登山ルートの整備(企画広報部会と共同)…令和5年が兎年ということもあり、まずはうさぎ岩までの登山ルートを整備。危険箇所の確認もでき、今後の保全活動や陶町Map(仮称)制作のための準備を進めることができた。
【10月】中馬街道探索～陶小6年生児童と共に～、うさぎ岩ルート整備
【12月】陶町あ・うんコンサート
【3月】中馬街道看板設置

3 事業成果(目標に対しての成果:数字等でわかりやすく)

【10月】中馬街道～陶小児童との散策
(参加者数:児童13人、引率教員2人、街づくり部会員2人、職員1人)
中馬街道整備(10/10、10/22、10/29、10/30 協力者人数 延べ約70人)
【12月】陶町あ・うんコンサート…入場者数78人(大人53人、小人8人、未就学児17人)
【3月】中馬街道看板設置(大川、吹越)

4 事業に要した経費(総事業費)

370,798 円

5 夢づくり地域交付金充当額

300,000 円
(内、交付金加算額 円)

6 合同で実施した地区

7 活動経過、活動の内容

(単位:円)

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	陶町あ・うんコンサート ・チラシ印刷代 ・入場券等印刷代 中馬街道整備 ・協力者用飲料 ・草刈り用燃料 中馬街道探策(陶小児童と) ・資料印刷代	 印刷費 印刷費 食料費 光熱水費 印刷費	 33,990 540 756 3,389 3,080
11月	陶町あ・うんコンサート ・新聞折込代 ・出演者、協力者用ケータリング	 手数料等 食料費	 10,472 1,200
12月	陶町あ・うんコンサート ・出演料 ・出演者、協力者用ケータリング ・出演料振込手数料	 報償費 食料費 手数料等	 213,217 4,791 880
1月	陶町あ・うんコンサート ・出演料(所得税)	 報償費	 21,913
2月			
3月	中馬街道(陶町Map)作成 ・中馬街道陶板貼付用シール用紙 ・上記代金　振込手数料 ・看板 ・上記代金　振込手数料 ・看板設置個所への謝礼 ・看板設置作業　作業者用飲料	 消耗品費 手数料等 備品費 手数料等 報償費 食料費	 4,468 330 69,300 550 1,080 842
			370,798

8 収支実績

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	300,000	300,000	
自主財源	5,000	11,798	
その他(あ・うんコンサート)	75,000	59,000	
合　　計	380,000	370,798	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
中馬街道整備	草刈り用　燃料	光熱水費	1,000	3,389	
	整備協力者用　飲料	食料費	1,000	756	
	掃除用品	消耗品費	1,000	0	
		小計	**3,000**	**4,145**	
中馬街道探策 (陶小児童と)	資料印刷代	印刷費	4,000	3,080	
		小計	**4,000**	**3,080**	
中馬街道 Map作成準備 ※事業内容変更	中馬街道データ企画・デザイン料	委託料	65,000		
	QRコードシール代	消耗品費		4,468	
	上記代金　振込手数料	手数料等		330	
	看板	備品費		69,300	
	上記代金　振込手数料	手数料等		550	
	看板設置個所への謝礼	報償費		1,080	
	看板設置作業　協力者飲料	食料費		842	
		小計	**65,000**	**76,570**	
陶町あ・うん コンサート	出演料	報償費	250,000	213,217	
	出演料　所得税	報償費		21,913	
	会場飾り付け用グッズ	消耗品費	2,000	0	
	出演者、協力者用ケータリング	食料費	6,000	5,991	
	チラシ、ポスター印刷代	印刷費	37,000	33,990	
	入場券等印刷代	印刷費	2,000	540	
	出演料振込手数料	手数料等	1,000	880	
	チラシ新聞折込料	手数料等	10,000	10,472	
		小計	**308,000**	**287,003**	
合　　計			**380,000**	**370,798**	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

環境美化事業

２　活動報告（活動内容等）

夏花、冬花の苗の栽培及び配布
【配布先】
陶小学校、陶幼児園、陶宅老所いちにのさん、陶児童館、消防署陶分署、どんぐり工房
交通安全協会陶分会女性部会、東町２丁目町内会、水上第２長寿クラブ、大川葉桜会
陶与左衛門窯、こま犬の里ふれあい協議会、サニーヒルズみずなみ、猿爪区、陶公民館他

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

夏花、冬花の苗の栽培及び配布
　約130人参加　16団体に配布
配布数
　夏花　マリーゴールド　2,184本、ベゴニア　1,392本、計3,576本
　冬花　ビオラ　2,304本

４　事業に要した経費（総事業費）

193,888　円

５　夢づくり地域交付金充当額

150,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	夏花種まき ビニールハウス修繕	消耗品費 食料費	3,655 1,700
５月	第１回部会会議 夏花ポット移植	消耗品費 食料費	32,670 1,300
６月	夏花配布 ハウス周辺草刈り		
７月	ハウス周辺草刈り		
８月	ハウス周辺草刈り	消耗品費	13,480
９月	冬花ポット移植 ハウス周辺草刈り	消耗品費 食料費	33,000 1,300
１０月	冬花配布		
１１月			
１２月	ハウス周辺草刈り	消耗品費 光熱水費	62,288 1,991
１月	ビニールハウス修繕	消耗品費	42,504
２月			
３月			
合計			193,888

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	150,000	150,000	
自主財源	50,000	43,888	
その他（　　）			
合　　計	200,000	193,888	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
夏花、冬花の苗の栽培及び配布	花の種、苗	消耗品費	75,000	65,120	
	肥料代	消耗品費	20,000	6,125	
	培土	消耗品費	45,000	73,004	
	ハウス内外修繕材	消耗品費	50,000	43,348	
	草刈り、散水ポンプ燃料	光熱水費	4,000	1,991	
	種まき、ポット移植時飲み物	食料費	6,000	4,300	
合　　計			200,000	193,888	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

防災減災セーフティーネット事業

２　活動報告（活動内容等）

・陶小学生を対象に防災教室を予定していたが、中止しました。
・陶小学校防災キャンプのお手伝い
・自主防災組織防災訓練パッククッキング（猿爪地区対象）

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

陶小学校防災キャンプのお手伝い（１００人）
自主防災組織防災訓練パッククッキング（２５人）

４　事業に要した経費（総事業費）

50,718　円

５　夢づくり地域交付金充当額

40,405　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	レスキューストックヤード年会費	手数料等	10,313
６月			
７月			
８月	陶小学校防災キャンプ		0
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月	自主防災組織防災訓練（パッククッキング） 事前練習	印刷費	1,000
３月	自主防災組織防災訓練（パッククッキング）	消耗品費 光熱水費 印刷費	33,365 3,400 2,640
合計			50,718

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	150,000	40,405	
自主財源	16,000	10,313	
その他（　　）			
合　　計	166,000	50,718	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
情報提供	レスキューストック ヤード年会費	手数料等	11,000	10,313	
小計			11,000	10,313	
減災啓発	GIS防災情報 マップ管理	消耗品費	5,000	0	
小計			5,000	0	
自主防災訓練	自主防災組織 防災訓練 パッククッキング	印刷費 消耗品費 光熱水費	5,000 45,000 0	3,640 33,365 3,400	
小計			50,000	40,405	
陶小学校避難所 体験訓練	陶小学校避難所 体験訓練資料	印刷費	100,000	0	
小計			100,000	0	
合　　計			166,000	50,718	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　陶　地区

事業番号

事業名　環境美化　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	種まき、ポット移植、配布作業参加者　150人	3
		実績値	種まき、ポット移植、配布作業参加者　約130人	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	多くの花を配布するために、ビニールハウスを修繕し、気候変動に適応し、苗の育成管理をする。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				18

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	苗はコロナ前と変わらず、生育し配布できて良かったと思う。苗やハウスの管理が大変ではあるが、出来る人で出来ることをしていかなくてはならないと思う。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　陶　地区

事業番号

事業名　文化振興　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	・中馬街道探索～陶小児童と共に（児童、教員、部会員、職員の参加） ・陶町あ・うんコンサート　目標動員数75人 ・中馬街道整備　看板の確認と清掃 ・陶町Map作成　陶町の観光名所や魅力と中馬街道を網羅した持ち運びやすい地図を作成	3
		実績値	・陶町Map作成…事業変更(陶町Map作成を作成準備事業に変更) ・中馬街道探索～陶小児童共に（参加者数：児童13人、教員2人、部会員2人、職員1人） ・陶町あ・うんコンサート：入場者数78名（大人53名、小人8名、未就学児17名） ・陶町Map作成準備として中馬街道看板設置（大川、吹越）	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	【芸術鑑賞】子供から大人までが楽しめる、プロが演出する芸術鑑賞に触れる機会を設けたい。 【陶町Map作成】中馬街道は陶町の歴史を知ることができる大切な史跡だが定期的に整備されることがない。整備し町民や、陶町を訪れた方に陶の歴史や文化を知ってもらえるよう、陶町の観光資源の一つとして活用できるようにしたい。Mapには併せて陶町の名所や見所も標記し、陶町を訪れた人に陶町全体を知ってもらえるようなツールの作成。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		陶町全体を網羅できるようなMapが作成できればと考えたが、1年のみでできるような安易なものではなかった。よって、まずは町内の名所・魅了を把握し、整備を試みることから始めることとした。その一環が、企画広報部会との共同作業で、うさぎ岩までのルート確認及び整備となった。併せて、中馬街道は地元小学生と毎年探索をしており、7年続くものとして子たちにも知ってもらう機会となっている。 コンサートと落語の隔年開催も定着してきた。今後も町民の皆さんに文化や芸術を身近に感じてもらえるような活動を行い、陶町の文化事業が活性化するよう努力していきたい。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　陶　地区

事業番号

事業名　交流人口拡大　事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	・陶子連追跡ハイク:80人　・どんど焼き:100人　・陶一周駅伝:1500人 ・陶与左衛門窯まつり:800人　・ふれあい広場:300人　・すえっこ活動	4
		実績値	・陶子連追跡ハイク:80人　・どんど焼き:80人　・陶一周駅伝:570人 ・陶与左衛門窯まつり:800人　・ふれあい広場:300人 ・すえっこ活動	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	与左衛門窯焼成技術指導後継者の育成	2
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		2
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		2
合計点				18
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、イベントは縮小して行った。 組織の硬直化を避ける為、若返りを望む。 65歳～70歳の指導者の元、実働部隊として40歳～55歳の構成を理想とする。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　陶　地区

事業番号

事業名　防災減災セーフティネット事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	自主防災組織防災訓練パッククッキング（猿爪対象）	1
		実績値	自主防災組織防災訓練パッククッキング（猿爪対象）25人	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	防災自主組織の強化	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				18
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		今後も防災訓練等を実施して、自主防災組織がいざという時に実際に行動できる組織に育てあげて行きたい。		